

いわえのぐ
岩絵具ってどんなえのぐ??

皆さんは美術館などで「日本画」を目にしたことはありますか？日本画は油絵具やアクリル絵具と異なり、古来から自然の鉱石や土などから作られた絵具（群青、孔雀石など）や膠を使って描かれています。これらは希少価値が高く、今日では人工的に作られた絵具も使用されています。今回、東

京工業大学博物館では11月3日（祝・木）（文化の日）に日本画家の橋本弘安先生をお招きし、身近で拾った岩石などから天然顔料絵具〈岩絵具〉をつくる体験を通して、絵の具の元である「素材（物質）」の面白さや物質研究について関心を広げるワークショップを開催します。東工大で芸術の秋を楽しみませんか♪



開催日 2022年11月3日（祝・木）
時間 午前の部：10:30-12:30（受付：10:10）
午後の部 14:00-16:00（受付：13:40）
対象 小学校4年～
（親子での申し込みの際は1家族1グループとしてお申込みください）
定員 20組
会場 東京工業大学博物館・百年記念館
（東京都目黒区大岡山2-12-1）
最寄り駅 東急目黒線・東急大井町線大岡山駅徒歩1分
参加費 無料



講師紹介

橋本弘安 (HASHIMOTO Kouan)

大坂府に生まれる。1977(昭和52)年、東京藝術大学日本画専攻卒業。卒業後、叔父で日本画科の橋本明治、そして高山辰雄に師事。1986(昭和61)年、女子美術大学日本画専攻専任講師。粉碎法による岩絵具研究の第一人者であり、長年研究と教育にもあたっている。女子美術大学名誉教授。

<申込方法>（応募期間10/3～10/17 23:59まで）
QRコード（Googleフォーム）から午前の部、午後の部を選んでお申込みください。希望者が多い場合は抽選となりますのでご了承ください。
抽選結果 10月20日（木）（メールにてご連絡致します。）



応募フォームはこちら

から天然顔料絵具「岩絵具をつくるろう」
ワークショップ参加者募集！

10/17
締切

